

当社取締役会の実効性評価に関する評価結果の概要について

オリエンタル白石株式会社

当社は、取締役会の実効性を高め企業価値の向上を図ることを目的として、当社の「コーポレートガバナンス基本方針」に基づき、2022年度における当社取締役会の実効性について分析・評価を行いましたので、以下の通り結果の概要を公表いたします。

1. 分析・評価の方法

自己評価・分析につきましては、外部機関の助言を得ながら以下の方法で行いました。

2023年3月に取締役会の構成員である全ての取締役（監査等委員含む）を対象に、外部機関に直接回答する方法で匿名性を確保する形で、アンケートを実施いたしました。外部機関からの集計結果の報告を踏まえたうえで、2023年4月の定時取締役会において、その内容を分析・審議し、取締役会の実効性確保の状況を確認いたしました。併せて今回の結果を踏まえた対応について、取締役会において審議及び確認を行いました。

2. 評価項目

全ての取締役（監査等委員含む）に対するアンケート（5段階評価の選択式設問および記述式設問。合計40問）。設問はコーポレートガバナンス・コードの改訂内容等を踏まえつつ、外部機関の助言を得ながら作成。

- I. 取締役会の構成
- II. 取締役会の運営
- III. 取締役会の議論
- IV. 取締役会のモニタリング機能
- V. 社外取締役（監査等委員含む）のパフォーマンス
- VI. 取締役（監査等委員含む）に対する支援体制
- VII. トレーニング
- VIII. 株主（投資家）との対話
- IX. 取締役自身の取組み
- X. 総括

3. 分析・評価結果の概要

アンケートの回答から、当社取締役会は、適切な頻度で開催されており、概ね取締役会の構成や運営、議論等の実効性は全体として確保されていると認識しました。

前回実施した実効性評価における諸課題に対するこれまでの主な取組は、以下の通りです。

1. 中長期的な経営戦略の審議の充実を図る為、会議資料の論点整理や議事の事前スケジュール化を進め、コーポレートガバナンス・コード改訂に伴う事項については、計画的に数回の審議機会を設け、以下の各種方針や対応等を決定。
 - 1) サステナビリティ基本方針策定、マテリアリティ選定、気候変動問題に対処する体制整備等
 - 2) 事業ポートフォリオ戦略、多様性確保等の経営資源に関する対応
 - 3) 取締役のスキルマトリックスやサクセッションプランの策定
2. 社外取締役の審議事項の理解度を高めるため、事前ブリーフィング会や情報共有を目的とした外部専門家による勉強会を開催し、現場や工場視察における職員との対話の機会を提供。

アンケートの評価では、十分な審議時間の確保や、議案の背景や事業の理解度の向上を通じ、取締役会の審議の活性化や経営の監督機能の強化といった点で、着実な改善が認められました。

4. 今後の対応

当社取締役会は、今回の評価結果を踏まえ、取締役会の実効性の更なる向上を図るため、以下の対応に注力してまいります。

- 1) 取締役会での経営戦略の審議の充実をはかる為、社外取締役への事前ブリーフィングによる情報提供機会を継続すると共に資料の早期提供、資料内容の整理等審議に必要な情報の整理を行います。上記に対応する為、事務局の体制強化を図り、効率性も含めた運営機能の見直しを行います。
- 2) 取締役会における経営に対するモニタリング機能を強化する為、多様性を念頭に社外取締役の増員を含めた役員構成を見直します。
- 3) 中期経営計画の着実な実行の為、経営計画の非財務を含めた戦略の実行を取締役に於て確実にモニタリングしていきます。
- 4) ステークホルダーとのエンゲージメントを重視した経営を行う為、取締役会における適切な開示に対する監督機能の充実を図ります。

以 上